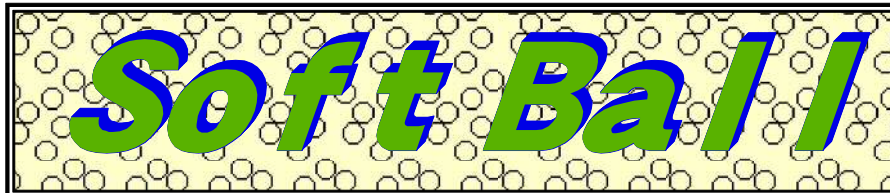


平成27年
第1号
通巻25号



発行者・編集者
さいたま市ソフトボール協会
市ソ協会長 和田 隆雄
広報委員長 田口 秀夫

平成26年度評議員会開催

評 議 員 会

“844万円マンモス予算”

“五輪にソフトボールを”ムード作りを

平成27年2月21日「さいたま共済会館」において市ソ協の平成26年度評議員会が128名の出席で「市ソ協関連の900余試合を完了し26年度もめでたく手締めです。本会議より27年度の出発です」と田中副会長のゴーサインで盛大に開催された。

和田隆雄会長は「梅香の好日、多数参会戴きありがとうございます。12シーズンも市ソ協運営が黒字で終了しました。試合中の登録ミス、当日棄権、暴力行為、暴言等の事故、不祥事もめっきり少なくなりました。役員、選手、チーム関係者のお陰と感謝申し上げます。協会の活動については、各部門が職掌を分担し連携を取りながら手慣れた運営作業を行っており順調な事業活動に安心しております。報・連・相と、役員経験豊かなベテランならではの手腕です。

数年来の懸案であった審判員不足については昨年12月の第3種審判員認定講習会に80名を超える応募がありました。4月からの活躍に期待いたします。しかし、まだまだ足りません。いわゆる「選手と審判は別もの」という認識を持たず互いにソフトボールを楽しみましょう。



〔表彰状と和田隆雄会長〕

また、1月には左記のような埼玉県障害者スポーツ協会より、市ソ協に功労賞を頂きました。

本日は大切な評議員会と懇親会。慎重かつ速やかな議事進行にご協力を」と挨拶で述べられた。

来賓の㈱ルイスビルスラッガージャパン専務取締役役生原亨様より「平素は当社製品をご愛用ご愛顧いただき有難うございます。来る東京五輪でソフトボール/野球の採用をと世論でとりざたされております。関係する者同志、手を携えて実現に応援しようではありませんか。評議員会が盛大に開かれたことおめでとうございます。参会の皆様方のご健勝と市ソ協のますますの繁栄をお祈り申し上げます。」と祝辞をいただいた。ナガセケンコー(㈱牧野公保様、㈱ルイスビルスラッガージャパン板屋莉奈様を来賓紹介の後、規約12条により和田会長が議長として議事に入った。

〔表彰状と和田隆雄会長〕

(1)平成26年度事業報告について

浅見 茂理事長

常任理事会・理事会、種別の委員会、運営調整会議、市ソ協大会(602チーム)、試合数(537)、役員動員数(649人)、審判動員数(830人)、中学生大会・高校生大会、ねんりんピック予選会、県大会主管、他の報告があった。



〔事業報告：浅見茂理事長〕

(2)平成26年度決算報告

石渡 勲副理事長

収入総額840万5千円、支出総額827万7千円、残額12万8千円。収入の部：実年・シニア・小中学生のチーム減で参加料減収。支出の部：事業費が予算比10万円減、事務費は通信費がアップ。登録料はチーム・審判・記録員減少で予算比2万6千円減。

続いて「設立15周年記念積立金」の決算報告がなされた。

収入：122万5千円、支出52万7千円、残額69万8千円。



平成26年度監査報告 石黒 寛監事

監査の結果適正です。すばらしい執行です。の報告があった。

(3)平成27年度事業計画について

白島一芳副会長

市ソ協大会日程、各会議、認定会、講習会他、予定は別紙の通りですがホームページでも常時公開しています。特に4月25・26日にさいたま市で関東大会(関東小学生選抜・男女)を担当します。経験したことのない大きな大会ゆえ協会一丸となって取り組みます、と報告があった。

(4)平成27年度予算について

榎本靖二副理事長

予算総額844万円を計上した。収入の部で審判員増(43名)で21万5千円増、支出の部で少子高齢化の影響か？チーム減のため事業費7万8千円減、事務費は5万8千円増で、コピー機の維持費・渉外費で7万5千円増額、上部大会出場の低迷で、大会派遣補助費4万円減。登録料は横ばいで9千円の増。15周年積立金10万円、予備費17万5千円計上し13年連続の黒字決算になる、と提案された。

(5)平成26・27年度役員について

浅見 茂理事長

1期2年の原則だが、浜出均中学生委員長と、田中伸一副委員長の両名が退任し、新しく中学生委員長に塩原昭彦(大久保中学校)、副委員長上原育子(日進中学校)の両名が就任する旨報告があった。

また、市ソ協発足以来役員は変わらず、28年度よりは順次後継者が出て若返らなければ…と会長より発言があった。

(6)平成26年度最優秀選手・団体・個人表彰

賞状授与は和田会長、副賞授与は㈱ルイスビルスラッガージャパン専務取締役役生原亨様で、最優秀選手副賞はソフトボール人羨望の銘品「カタリスト」のバットがルイスビル社から寄贈された。○最優秀選手賞・団体賞・個人表彰などは次ページ別項に掲載。



〔和田会長を囲み、最優秀選手賞・団体賞・個人表彰者の皆さん〕

閉会のことば：永田副会長の「審議案件すべて満場一致で承認されました。東京五輪のソフトボール復活にはライバルが10競技団体もあるそうです。ソフトボール復活の世論作り、ムード作りは私達にもできます。頑張りましょう」と閉会のことばで終了した。

懇 親 会

平成26年度評議員会の後、午後3時より評議員会議場隣のホールに移動し78名の参加を得、三枝佳子放送副委員長の司会により懇親会が開催された。

浅見茂理事長が『緊張の内つつがなく評議員会も終了し、13シーズン目に入ります。時間のゆるす限りグラウンドを離れた本席で、大いにソフトボール談義で懇親を深めて下さい』と開会した。

石黒 覚監事より『私の家では父と私の2代がソフトボールに関わっております。昔、埼玉県の中小高女子ソフトは強かった。今年は往年の高名を取り返そう。そして東京五輪へのソフトボール採用に応援しよう』と力強い乾杯の発声をいただいた。

しばし談笑の後、26年度に活躍したチーム（種別の優勝チーム）代表者のコメントが発表された。（以下要旨）



○壮年・OMIYA CLUB[40']：村田秀司監督は『全国大会で4強、県大会で4強、8強入、市ソ協の壮年2連覇中、7回の優勝は全て今席にいらっしゃる母校・荒川先生の指導のお陰で、厳しく鍛えられた成果です。メンバーは大宮工業高校OB他ソフト大好き人間達28名です。これからは食欲に上昇志向で勝ちに行きます。市ソ協の皆様よろしくご指導ご協力をお願いします』



○実年・さいたまクラブ：佐藤礼治主将は『部員計60数名、ねりんピックは雨で中止、再エントリーしています。全国に“さいたまクラブ”ありと言われるチーム作り中です。究極は実年・シニア部での全国制覇です』

○シニア・ハイシニア・浦和SG：佐藤和昭投手は『シニア・ハイシニアの部最多の65名のメンバーを誇ります。戦歴は全国大会優勝1回、県大会13回、市大会22回の優勝です。チームカラーは県・全国大会へのチャレンジ精神。各チーム切磋琢磨しましょう。同好の志の加入を歓迎します』

○一般男子一部・上木崎小PTAソフト：

川合亮監督は『OMIYA CLUB[40']、土合小PTAソフトに迫りつき、追い越せと猛練習の毎日でした。メンバー32名、目標があつての練習は苦になりません。一般男子一部の通算3回目の優勝うれしいです。来期も戦力を強化し連覇を狙います』

○一般男子二部・ベアーズ：土屋政之監督は『新人4名の加入により戦力アップになり念願の初優勝。大宮時代も上の中で鳴かず飛ばずで無冠。市ソ協加入も当初1部でしたが、平成19年に降格し8年間2部暮らし、我慢に我慢と明るく楽しく、親子でのプレーが4組もいる28名のファミリーチームです。苦節40年やっと春が来ました。優勝はうれしかぎりです』

○一般男子三部・シンセイ：森岡 徹マネジャーは『北区本郷町を中心にソフト好きが「新生」というチーム名で発足。大宮時代は西遊馬G、第二東中Gで参戦するも今羽ソフト・カスラーズ・日進パーク・M2の影で無名無冠、そして「シンセイ」と改名。数年後市ソ協が結成したので加盟、以来地道な練習、世代交代が実り思い出の地西遊馬Gで初優勝。31名のメンバーと「新生」時代の長老達と初体験をよろこびました』



○ハイシニア・さいたま65：斉藤昭男監督は『浦和SG、大宮レインボーズ、ハイスターズ七里チームさん達にもまれています。ウチのメンバー28名の戦力、調子是不動です。運が良ければ優勝しています。6回も！！、ということは他の強敵チームの調子が悪かった時でしょう。運まかせです』



○レディース・大宮クラブ：荒川健二郎監督は『楽しかった「高校ソフト部活」時のつながりで年々卒業後集まっている宮工OGが中心メンバーの大宮クラブです。現在のメンバーは13人ですが全日レディーイズ、土屋会長旗Aクラス、県民総体でも活躍、市大会で11回Vの実力NO1チームです。私はソフト人生50年余(半世紀)当時の教え子は男女とも各地、各界で活躍中、本当にありがたいことです。市ソ・県ソの技術指導の役にもついているソフト大好き人間です。倒れる迄ソフトボールを続けます』

スポ根、猛練習、我慢、チームカラー、改名、縁、運まかせ、喜び、とユニークなコメントの熱弁に会場は大いに感激、感心したり爆笑と拍手で大盛り上がりだった。

中締めには井上支部女子部長が『北京でのソフト金メダル試合感動しました。ぜひ東京でソフト復活を』と三本締めを行った。

最後に白島一芳副会長が『市ソ協の益々の発展を祈念し万歳三唱で閉会します』と万歳唱和、16時に閉会した。



〔閉会：白島副会長〕



平成26年度市民体育大会最優秀選手名簿

種 別 名	所 属 チ ー ム 名	授 賞 者 名
一般男子1部	上 木 崎 小 P T A ソ フ ト	中塚 憲介
一般男子2部	ベ ア ー ズ	浅沼 文雄
一般男子3部	シ ン セ イ	澤邊 正一
壮 年 の 部	O M I Y A C L U B [4 0 ']	田口 直樹
実 年 の 部	さ い た ま ク ラ ブ	高橋 一弘
シ ニ ア の 部	浦 和 S G	稲垣 忠男
ハイシニアの部	さ い た ま 6 5	磯 尚茂
レディーの部	大 宮 ク ラ ブ	神田あづさ
協会旗(高校生)	大 宮 東 高 等 学 校	飯島 紅奈
会長旗(中学生)	さいたま市立内谷中学校	中澤 玲香
小学生男子の部	指 扇 ラ イ オ ン ズ 男 子	田中 涼
小学生女子の部	指 扇 ラ イ オ ン ズ 女 子	橋崎芽依奈

○団体賞（カッコ内氏名は受賞者）

【OMIYA CLUB[40']】日本ｽﾎｰﾂﾏｽﾀｰｽﾞ：ﾍﾞｽﾄ8、ｼﾞｬﾝﾌﾟｰﾌﾟﾝ：県3位、全日本男子：県ﾍﾞｽﾄ8（村田秀司）

【さいたまクラブ】東日本ｼﾞｬﾝﾌﾟ杯実年大会：準優勝、県民総体実年の部：準優勝（佐藤礼治）

【浦和SG】県民総体シニアの部：優勝/V4（佐藤和昭）

○個人表彰

・浜出 均 中学生委員長（在職9年間）

・田中伸一 中学生副委員長（在職9年間）

平成26年度市民体育大会結果

【一般男子1部】 [24チーム]

11月30日 荒川総合運動公園 F面

上木崎小PTAソフト	0 0 6 0	6
新曲輪クレインズ	0 1 0 2	3

(上木崎) 吉田友洋一・中塚憲介
(新曲輪) 坂上淳紀・古屋博崇
(本塁打) 古屋博崇[新曲輪]
(二塁打) 車谷将大・樋口龍人[上木崎]
宮内健一[新曲輪]
(MVP) 中塚憲介[上木崎]
(審判員) (球) 並木 徹 (一) 会田教之
(二) 三田明夫 (三) 樋口博司
(記録員) 島寄恒夫 (戦評) 杉木英生
(広報員) 友光節夫

上木崎小PTAソフト 接戦を制し3度目の優勝

上木崎小、2回1点を先制されるが、3回先頭樋口の二塁打から打者12人4連続安打を含む7長短安打を集中して6点を奪い逆転、守っては吉田投手が新曲輪打線の反撃を抑え接戦を制し春秋3度目の優勝。

新曲輪も、2回古屋のソロで先制するが、3回逆転され4回に宮内の2点適時打で反撃し善戦するが後続を断たれ勝利を逃す。

川合 亮監督談話

◎若いチームなので、もろさを心配していたのですが、それ以上に成長していました。6年ぶりの優勝なので嬉しいです。



【優勝の上木崎小PTAソフト】

【一般男子2部】 [47チーム]

11月30日 荒川総合運動公園 D面

高砂小PTAソフト	0 1 1 2	4
ベアーズ	3 1 2 X	6

(高砂小) 本橋孝則・赤松宏和
(ベアーズ) 土屋恒太・武井浩司
(本塁打) 武井浩司[ベアーズ]
(二塁打) 石渡信吾[ベアーズ] 鈴木 淳[高]
(MVP) 浅沼文雄[ベアーズ]
(審判員) (球) 棚沢敬治 (一) 信田正行
(二) 栗原敏夫 (三) 柚木昭男
(記録員・戦評) 杉木英生
(広報員) 北林孝和

ベアーズ接戦を制し 初優勝に輝く!!

ベアーズ、1回相手投手の立ち上がりを読み、神山・大島の連打と四球を絡め、伊藤の適時打、西ヶ谷の犠飛で3点を挙げ先行、2回にも大島の好走塁と浅沼の適時打で1点を加え、3回に武井のソロと守備の乱れで2点を挙げ引き離して初優勝。

高砂小PTAも2回に西林の犠飛で1点、3回に嶋田の適時打で1点を返し、4回瀬戸の2点適時打で2点差に追い上げ善戦するが、あと一歩及ばず勝利を逃した。



【男子二部初優勝のベアーズ】

土屋政之監督談話

◎長い年月かかりましたが、ようやく優勝できました。1・2部で初めて優勝を味わい感動しています。これから精進してまた1部で頑張りたいと思います。関係者の皆さんありがとうございました。



【準優勝の高砂小PTAソフト】

【一般男子3部】 [46チーム]

11月30日 西遊馬運動公園 B面

シンセイ	3 3 0	6
大宮インベストクラブ	1 2 0	3

(シン) 和泉暁大・宇田川和哉・澤邊正一
(大宮) 立山一正・榎本裕優
(MVP) 澤邊 正一[シン]
(審判員) (球) 大野相善 (一) 下浦秋夫
(二) 石井一憲 (三) 久保田敬之
(記録員・戦評) 本間幸次
(広報員) 神長伊佐男

シンセイ、乱戦を制し 初優勝!!

シンセイ、初回相手投手の不調を突き1安打ながら四死球と敵失で3点先制、2回にも無安打で四球と敵失で3点を追加し逃げ切った。

大宮インベストクラブ、1回二死三塁を失策で1点、2回1安打5四球で2点と追うも後続を断ち切られた。

両チームとも投手の不調でシンセイ1安打、大宮2安打。両チーム併せて12四死球と5失策で決勝戦には寂しい試合となった。



【男子三部初優勝のシンセイ】

小田 香監督談話

◎本日は勝ててとても嬉しいです。春は全敗だったので秋は皆で頑張ろうと決意しました。本日はチーム一丸の勝利です。



【準優勝の大宮インベストクラブ】

【準決勝戦結果】

上木崎小PTAソフト 5-4 土合小PTAソフト
新曲輪クレインズ 6-1 桜ソフト愛好会

【準決勝戦結果】

高砂小PTAソフト 9-1 大宮日進ソフト
ベアーズ 10-4 大和ソフトクラブ

【準決勝戦結果】

大宮インベストクラブ 7-4 桜木フォアーズ
シンセイ 7-1 塚本ソフトボールチーム

【壮年の部】 [20チーム]

11月24日 荒川総合運動公園 B面

OMIYA CLUB[40']	8 1 0 1 0	10
カスラーズ 壮年	1 0 7 0 0	8

(OMI) 田口直樹ー細村勝城
(カスラ) 大塚公博・渡辺照吉ー
松澤賢二・古屋博崇
(本塁打) 田口直樹・永島次郎[OMIYA]
安斉貴志[カス]
(二塁打) 永島次郎[OMI]芳賀洋文[カス]
(MVP) 田口直樹[OMIYA CLUB]
(審判員) (球) 田中昌幸 (一) 中村 登
(二) 山本朝夫 (三) 渡辺 充
(記録員) 野中新介 (戦評) 本間幸次
(広報員) 石原則易

OMIYA CLUB 乱打戦を制し 2年連続5度目の優勝!!!

OMIYA、初回四球を挟み6連打で8点先制、2回田口のソロホームラン、4回にも永島のソロホームランで突き放した。

カスラーズ、8点を追う3回打者12人、安斉の本塁打を含む5長短打で7点と1点差に追いかけるが届かなかった。



【壮年の部優勝・OMIYA CLUB[40']】

村田秀司監督談話

◎優勝戦は相手のカスラーズ壮年も力のある選手が多く、壮絶な戦いとなりどちらが勝ってもおかしくない試合になりました。何とか選手の踏ん張りで勝つことが出来ました。今後はもっとチーム力を上げ楽な展開に持ち込めたらと思います。



【準優勝のカスラーズ壮年】

【準決勝戦結果】

カスラーズ壮年 7ー4 高砂小PTAソフト
OMIYA CLUB[40'] 12ー5 マツハシ49ers

【実年の部】 [21チーム]

11月24日 荒川総合運動公園 B面

木崎小学校PTAソフト	0 0 2 0 1	3
さいたまクラブ	6 0 0 1 0X	7

(木崎小) 吉嶺一富ー佐々木保
(さいた) 倉田新二ー高橋一弘
(三塁打) 小林秀樹[さい]星野義一[木崎]
(二塁打) 倉田新二[さい]
梶澤研三・三木茂雄[木崎]
(MVP) 高橋一弘[さいたまクラブ]
(審判員) (球) 大野相善 (一) 渡辺 充
(二) 中村 登 (三) 山本朝夫
(記録員) 島寄恒夫 (戦評) 本間幸次
(広報員) 北林孝和

さいたまクラブ そつない攻めで4連覇!!!

さいたまクラブ、1回打者10人を送り一挙6点を先制、4回二死一塁から本多の中前適時打で1点を追加し試合を決めた。

木崎小PTA、6点を追う3回二死一塁から梶澤・三木の連続二塁打で2点、5回一死から三木が送り星野の三塁打で1点を返すも後続を断たれた。



【実年の部4連覇のさいたまクラブ】

及川昭三監督談話

◎今年は、春季大会が準優勝・東関東大会も準優勝。なんとか最後の大会を締めくくりにして優勝したいと願っておりました。選手もよく頑張ってくれて優勝できたかなと大変うれしく思っております。皆さん有難うございました。



【準優勝の木崎小学校PTAソフト】

【準決勝戦結果】

さいたまクラブ 15ー0 四谷1丁目ソフト同好会
木崎小PTAソフト 15ー7 辻小PTAソフト同好会

【シニアの部】 [21チーム]

11月24日 荒川総合運動公園 A面

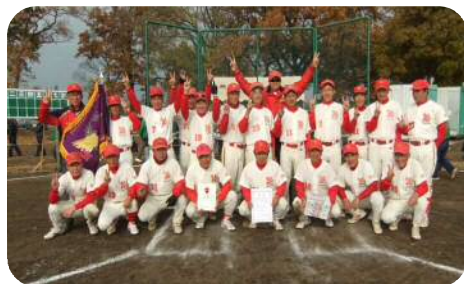
七里クラブ	0 0 0 0 0	0
浦和SG	2 0 0 2 3X	7

(七里ク) 藤波正幸ー乍 義弘
(浦和S) 佐藤和昭ー兼子 修
(二塁打) 松原 勉・鈴木秀敏[七里]
小林 薫[浦和]
(MVP) 稲垣忠男[浦和SG]
(審判員) (球) 並木 徹 (一) 石井 正
(二) 斉藤 武 (三) 吉村大菊
(記録員・戦評) 本間幸次
(広報員) 匠 博隆

浦和SG、驚異の秋8連覇 春・秋18連勝!!

浦和SG、1回無死二塁・一塁から重盗を決め失策を誘い又3・4番の連打で2点先制、4回一死走者二塁から匠が送り高取の適時打で2点、5回3・4番の連打と四球を小林の二塁打と一死三塁から代打広町のセンターへの犠牲フライでコールドゲームとなった。

七里クラブ、3回2連打で三塁まで進むも得点ならず、4回先頭打者鈴木の一死打も生かせず4安打完封を喫した。



【春・秋18連覇の浦和SG】

河村展良監督談話

◎練習量を落とさず全国大会出場を目指し、チーム一丸となって試合に臨んでいます。この優勝を通過点に更に上を目指して行こうと思っています。



【準優勝の七里クラブ】

【準決勝戦結果】

浦和SG 15ー0 東浦和ソフト同好会
七里クラブ 8ー7 大宮レインボーズ

【ハイシニアの部】 [9チーム]

11月8日 荒川総合運動公園 B面

【準決勝戦】

さいたま 6 5	4 2 2 1 0	9
ハイスターズ七里	1 0 0 0 0	1

(さいた) 大戸和憲・池上英夫・磯 尚茂
(ハイス) 森田 清一・乍 義弘・後藤 健
(本塁打) 田名綱三男[ハイス]
(二塁打) 鈴木幸作・青木義久[さいた]
田名綱三男[ハイス]
(審判員) (球) 中村 登 (一) 高橋與雄
(二) 西坂富男 (三) 千葉俊也
(記録員) 本間幸次 (広報員) 匠 博隆

【決勝戦】

さいたま 6 5	4 0 2 0	6
浦和 S G	0 0 1 0	1

(さいたま) 大戸和憲・磯 尚茂
(浦和 S G) 川口明朗・藤原安久
(長 打) なし
(MVP) 磯 尚茂[さいたま 6 5]
(審判員) (球) 吉村大菊 (一) 千葉俊也
(二) 高橋與雄 (三) 西坂富男
(記録員・戦評) 杉木英生
(広報員) 匠 博隆

さいたま65、2年振り 秋4度目の優勝！！

さいたま65、初回打者10人で5安打を集中し一挙4点を先制、3回にも守備の乱れから2点を加え春・秋通して6度目の優勝。

浦和 S G、3回に2連打で一矢を報いただけで、大戸投手に散発3安打に抑えられ敗退した。

斎藤昭男監督談話

◎チーム全員の団結が念じて浦和 S Gに勝利して頂点に立つことが一番の喜びです。

チーム全員感謝！！



【ハイシニア優勝のさいたま65】



【準優勝の浦和 S G】

【レディースの部】 [12チーム]

11月24日 北部工業団地記念公園 C面

与野レンジャーズ	1 0 2 1 0	4
大宮クラブ	0 1 2 0 2x	5

(与野) 翁長明菜・松本 瞳
(大宮) 吉川理沙・神田あづさ・長堀久美
(三塁打) 神田あづさ[大宮]
(MVP) 神田あづさ[大宮クラブ]
(審判員) (球) 丸田 豊 (一) 佐伯正夫
(二) 波村 章 (三) 小野俊英
(記録員・戦評) 杉木英生
(広報員) 眞嶋久美子

大宮クラブが逆転で 2年連続6度目の優勝！！

決勝戦は春季大会と同じになり、大宮クラブが春の雪辱をはたした。与野レンジャーズが絶えず先行するシーソーゲームを展開し、1点をリードされ迎えた最終回大宮クラブは、無死2走者を置き神田の適時三塁で2点を奪ってサヨナラ勝利となる。

与野レンジャーズも最後まで善戦するが力つきる。



【レディース優勝の大宮クラブ】



【準優勝の与野レンジャーズ】



【3位の南浦和マミースターズ】



【3位のまるまるず】

【高校生女子の部】 [16チーム]

第8回さいたま市ソフトボール 協会会長旗争奪高校生大会

11月22・23日 荒川総合運動公園

5ブロックに分かれリーグ戦を行い、1・2位チームによるトーナメント戦と研修リーグを実施した。(広報員：神長伊佐男)

【1部】 (I位トーナメント)

優勝：埼玉県立大宮東高等学校
準優勝：埼玉県立大宮工業高等学校
第3位：川口市立川口総合高等学校
埼玉県立上尾高等学校

【2部】 (II位トーナメント)

優勝：埼玉県立浦和北高等学校
準優勝：さいたま市立浦和高等学校
第3位：埼玉県立浦和東高等学校
埼玉県立浦和第一女子高等学校

【3部】 (研修リーグ)

優勝：淑徳与野高等学校
準優勝：川口市立川口高等学校

【中学生女子の部】 [34チーム]

さいたま市中学校新人体育大会

9月29日～10月1日まで荒川総合運動公園で開催され、本太中学校が初優勝し3位までの下記4校が県大会に出場した。

【準決勝戦結果】

本太中学校 7-5 与野東中学校
土合中学校 10-0 美園中学校

【決勝戦結果】

本太中学校	0 3 2 2 0 0 0 1	8
土合中学校	1 0 0 0 2 4 0 0	7

26年度さいたま市冬季大会

3月7日～14日：リーグ戦 (34チーム)

3月15日～22日：決勝トーナメント戦

27年3月22日 大久保中学校

本太中学校	0 0 0 0 0 2	2
内谷中学校	3 0 2 1 0 0	6

(本太) 梶田美波・前田琳香
(内容) 三須春花・中澤玲香
(最優秀選手) 増田芽以[内容中]
(優秀選手) 高野美有[本太中]
(審判員) (球) 樋口博司 (一) 吉村大菊
(二) 信田正行 (三) 岡田 貢
(記録員) 塩原明彦 (広報員) 田口秀夫
内容中は三須投手が要所を締める好投をみせ、攻撃陣も単打で繋ぎ着実に加点した。
本太中は6回に2点を返したが反撃も及ばなかった。



【冬季大会優勝：内谷中学校】

【小学生男子の部】 [14チーム]

11月3日 北部工業団地記念公園 C面

指扇ライオンズ男子	1 0 1 2 0 1	5
日進ドリームズ	1 0 0 0 2 1	4

(指扇ラ) 阿曾唯斗・田中 涼
(日進ド) 飯野雅也・佐藤優太
(本塁打) 鈴木 樹[指扇]
(三塁打) 一法師映斗[指扇]
(二塁打) 田中 涼[指扇]佐藤優太[日進]
(MVP) 田中 涼[指扇ライオンズ]
(審判員) (球) 木越規行 (一) 川村勝夫
(二) 中澤明男 (三) 白島一芳
(記録員) 本間幸次 (戦評) 杉木英生
(広報員) 斎藤 豊

指扇ライオンズが接戦を制し 2連覇、春・秋連続優勝!!

指扇ライオンズ男子は、初回土屋 (隼) の適時打で1点先行、3回には鈴木の本塁打で1点加え、4回には土屋 (匠) の適時打などで2点を挙げ、更に6回一法師の三塁打と敵失絡みで1点加した。

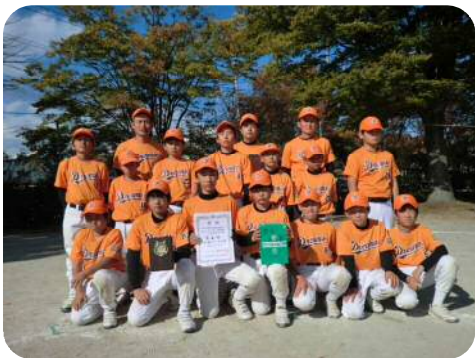
日進ドリームズも、1回佐藤の二塁打を飯野の適時打で1点を挙げ、5回に飯野が2本目の適時打を放ち2点を返して反撃、6回弓掛・大竹の連打で好機を作るが後一歩及ばず1点差で勝利を逃した。



【男女優勝の指扇ライオンズ男子】

黒岩俊也監督談話

◎全ては子供たちの努力の成果です。本当に良く頑張りました。おめでとう！



【準優勝・日進ドリームズ】

【準決勝戦結果】

日進ドリームズ 7 - 0 太陽フェニックス
指扇ライオンズ 12 - 4 文蔵ソフトボール少年団

【小学生女子の部】 [3チーム]

優勝 指扇ライオンズ女子

小学生女子の部は参加が3チームなのでリーグ戦のみ実施し、2勝0敗の指扇ライオンズ女子が優勝した。



【優勝・指扇ライオンズ女子】

【最終結果】

優勝：指扇ライオンズ女子 2勝0敗
第2位：沼影ソフトボール少年団 1敗1分
第3位：大宮西WEST女子 1敗1分
2・3位は同率の為規定により抽選で決定
(MVP) 橋崎芽依奈[指扇ライオンズ女子]

山田敬二監督談話

◎投手をはじめ、6年生が頑張ってくれて優勝することが出来ました。選手に感謝です。

11月3日 北部工業団地記念公園 B面

【第1試合】沼影・大宮西 引分

沼影ソフトボール少年団	0 1 1 1 2 0 0	5
大宮西WEST女子	2 1 0 0 0 2 0	5

(沼影ソ) 中村 恵一伊藤舞香
(大宮西) 小曾川夏美一平野真菜
(本塁打) 小曾川夏美[大宮西]
(三塁打) 小萩優香②・中村 恵[沼影ソ]
大窪彩花[大宮西]
(審判員) (球) 半澤武夫 (一) 染谷和良
(二) 杉山賢哉 (三) 中野清治
(記録員) 杉木英生 (広報員) 斎藤 豊

【第2試合】指扇ライオンズ女子 1勝

大宮西WEST女子	0 1 0 0 0 0	1
指扇ライオンズ女子	1 0 0 1 0 2	4

(大宮西) 小曾川夏美一平野真菜
(指扇ラ) 大石和佳奈一橋崎芽依奈
(本塁打) 橋崎芽依奈[指扇]
(三塁打) 谷口透子[指扇]
(二塁打) 橋崎芽依奈[指扇]
(審判員) (球) 飯野好弘 (一) 斎藤政勝
(二) 山本一美 (三) 広瀬文彦
(記録員) 島寄恒夫 (広報員) 斎藤 豊

【第3試合】指扇ライオンズ 2勝

指扇ライオンズ女子	1 1 1 6 6	15
沼影ソフトボール少年団	0 0 0 1 1	2

(指扇) 大石和佳奈・谷口透子一
橋崎芽依奈・平澤舞依
(沼影) 中村 恵一伊藤舞香
(三塁打) 平澤舞依・橋崎芽依奈[指扇]
(二塁打) 小萩優香 [沼影]
上平紗加・平澤舞依・大石和佳奈[指扇]
(審判員) (球) 染谷和良 (一) 飯野好弘
(二) 大平明雄 (三) 吉田一成
(記録員・戦評) 杉木英生
(広報員) 斎藤 豊



【準優勝の沼影ソフトボール少年団】

埼玉県大会結果 (抜粋) (平成26年9月～12月)

県民総合体育大会 (一般男子)
土小PTAソフトボール 第3位
県民総合体育大会 (壮年の部)
OMIYA CLUB [40'] 第3位
辻小PTAソフト同好会 ベスト8
カスラズ壮年 ベスト8
県民総合体育大会 (実年の部)
さいたまクラブ 準優勝
辻小PTAソフト同好会 ベスト8
県民総合体育大会 (シニアの部)
浦和SG 優勝
大宮レインボーズ 1回戦
県民総合体育大会 (一般女子)
与野レンジャーズ 1回戦
大宮クラブ 1回戦
県民総合体育大会 (中学生女子)
さいたま市立本太中学校 2回戦
土合中・与野東中・美園中 1回戦
県民総合体育大会 (小学生男子)
文蔵ソフトボール少年団 準優勝
指扇ライオンズ男子 第3位
赤羽根スポーツ少年団 ベスト8
太陽フェニックス 1回戦
県民総合体育大会 (小学生女子)
大宮西WEST 女子 1回戦
土屋会長旗争奪 (シニア) 大会
さいたま65・大宮レインボーズ 1回戦
土屋会長旗争奪 (女子) Aクラス大会
大宮クラブ 1回戦
埼玉スーパーハイシニア大会
JHPセブンティ ベスト8
大宮スーパーレインボーズ ベスト8
さいたま65 ベスト8
埼玉県総合選手権大会 (男子)
埼玉県庁クラブ 2回戦
OMIYA CLUB 1回戦

関東大会に参加して

シルバーウイング監督 大塚妙子

平成26年10月25日・26日神奈川県秦野市で開催された第18回関東エルドスト大会に出場することが出来ました。

昨年は雨で決勝戦が出来なかったため、神奈川県チームと双方が優勝と成りましたが、今年こそは単独優勝と参加しました。

相手は茨城県代表『ときめき』というチームで、私達より少し若い方が多いようでした。センターを中心に右に、左にと外野手が息をつく間もなく打ってくるチームで、毎回走者を置き点数を積み重なれました。

でも埼玉も見事な攻撃で4回に打者一巡の集中打で4点を取り、次の回はヒットはでたものの点数には結びつかず、1点差で涙をのみました。とても良い試合でしたが残念です。次回の大会も出場できるよう頑張りたいと思います。50才以上の方は非チームに参加して一緒に楽しみませんか。チーム員を募集しています。

◇◇チーム・人物紹介(15)◇◇

『山崎ソフト』

チーム代表者 高松 武

1. チーム所在地：さいたま市緑区山崎
(第二産業道路大ケヤキ周辺の住民)
2. 発足理由：健康と親睦をテーマに自治会チームとして昭和54年に発足した。当初は100名を超え、チーム内を4つに分けリーグ戦を展開した。自治会の行事の盆踊り・警備・御典・たこ揚げ大会などを手伝う。現在山崎自治会は世帯数約2,800、市で1番の自治会とか。
3. 戦績：壮年2位、一般3位、ねんりんピックで全国大会出場など。35年間の割に輝かしい戦績なし。
現在一般男子2部だが落ちそう。
4. メンバー：70歳代6人、60歳代15人、50歳代10人、40歳代10人、20歳代・30歳代5人とソフトのチームとしては若いこれからのチーム。(本当です)
5. 得意技：
 - ①カラオケで練習量豊富なベテラン歌手3人を抱えている。
 - ②祭りで出店の綿アメを担当。ふかふかにするのがこつ100円なので長蛇の列。(これも本当です)
 - ③家造ること。(棟梁4人、頭2人、水道・内装3人、役人も2人います。どんな相談でもOK) (本当です。)
6. 目標：
 - ①浦和SGにコールド負けをしないこと。
 - ②高血圧、前立腺の薬を忘れず飲んで、途中で我慢しきれなくなることがないように。
 - ③「ああ今年もソフトができた。」と笑顔で納会に出よう。



[芸達者な若者集団の山崎ソフトさん]

第3種公認審判員認定講習会

空前の90名受講！！ 意識改革に理解得た

平成26年12月14日(日)さいたま市荒川総合運動公園、市立大久保中学校校体育館において平成26年度第3種公認審判員認定講習会が中央支部とさいたま市ソ協主管で行われた。

この認定講習会については、26年度の開会式で和田会長が『審判員問題は数年来の懸案事項で、高齢化による人員不足で試合に支障を来す。シーズン後の認定会には積極的な受講を』と熱望していた。

県ソ協理事会でも「第3種認定会を各支部で開催。新規取得者の継続が課題だ」と石井審判委員長が提言していた。11月の市ソ協常任理事会では、認定会の申込者は僅か10名。「当該問題が周知されていない。」「今、強い英断をしなければいつまでも解決しない。」「28年度からの方向を予知して協力を。」「等々意見が出され、総意として『28年度よりリーグ戦には各チーム2名以上の審判員を登録して欲しいとの方向を検討しております。各チームにおいては積極的な受講をお願いします』旨の案内状を加盟全チームに発送した。過去数年にわたり審判員不足問題に苦慮していた経緯があったことが各チームに理解され、最終的に受講者数は90名と過去最大の認定講習会となった。

当日は、県ソ協から石井隆之認定委員長、伊藤康司認定員が見えられ、中央支部からは田中勉副会長、山内渉委員長、岡田貢認定会事務局長、市ソ協からは北林孝和審判事務局長及び12名の審判員が協力した。

開校式では田中副会長から『今、これ以上審判員が減少すると、ソフトボールができなくなります。増員することで28年に予定している「各チームの登録に複数人の公認審判員を義務化。大会参加資格に公認審判員の有無を明示」など、検討中の対応策が可能になります。意識改革に御理解戴けたことと信じます。今日一日頑張ってください』と激励があった。

石井認定委員長は『まず基本動作を覚えよう。後は審判の機会を増やそう。今日一日仲良く勉強しましょう』と挨拶。

受講者を4班に分け、1班22名に1名の認定委員、3～4名の市ソ協公認審判員、大久保中のソフトボール部員が補助員を務めた。投球判定60分、球審・塁審の動き60分、外野飛球時のローテーション15分。一人3分弱の実技動作だったが順序よく進行され、合理的で充実かつ壮観な認定会風景だった。

午後からは大久保中学校校体育館でルール講習が行われた。用語の定義、競技場、用具、プレーヤーと交代、試合と打合せ、打順間違いなど、資料に記載された68項目をゼッケン番号順に受講者が1項目ずつ

読み上げ、それについて認定委員が実戦での体験を基に、ユーモアたっぷりに実演を交えて解説するという内容に、全員講義に引き込まれていた。



また、質疑応答では日常の疑問点、トラブルの事例などを質問、認定委員が明解かつ懇切丁寧に回答、活発で熱心な講習会となり予定時間を大幅に超過した。

石井認定委員長は「私的には直ぐにでも1種に認定したい人が沢山居る。色々な意味で安心しました。」と総括コメントを述べ、爆笑と拍手で意義ある認定会が終了した。

(さいたま市：78名、他市：12名)

26年度審判員伝達講習会

2日間で195名参加！！

3月7・8日に、26年度審判員伝達講習会が下記の通り行われた。

《1日目》与野本町コミセン：ルール伝達

参加120名 和田会長の『いよいよシーズン開幕が引きしまります。別項の様に県障害者スポーツ協会より表彰されました。審判員の皆様のご尽力の賜物です。昨12月には第3種に78名が認定され、4月よりは合計373名登録の体制で活躍いただくわけです。今日、明日と寒い中ですがルール、実技しっかり受講し今年度も健康で県内、市内のグラウンドで活躍いただく様祈念いたします』の挨拶で開講した。

ルール改正・修正点 岡田審判副委員長。

【要点解説】東京五輪に野球/ソフトの種目が採用に名乗り出たので、試合のスピードアップ、安全制を…世論にアピールか。

[新設] ◎テンポラリーランナー(捕手が攻守交代時に防具の準備に時間がかかるため、2死時捕手の代わりの走者を認める)

◎打撃姿勢(バッターボックスをはずすとき片足を残す)

[修正] ◎次打者は、ネクストバッターボックスの一・三塁側どちらで待機してもよい。

《2日目》荒川野球A面：実技伝達

参加者 75名。

小雨の中、大宮レインボー選手20名の協力を得て4班に分れ、8時より12時迄熱心に実技講習にはげんだ。

◎基本動作 山内・矢作審判員より説明(コールとゼスチャー、カウントの出し方)

◎投球判定。打者・投手・捕手(レインボーズ)指導は8名の地区長

◎違反発生時のコールとゼスチャー 岡田審判員説明(不正投球、不正打球、インターフェア、離塁アウト走塁妨害、守備妨害と走塁妨害の判定)

◎ローテーション。山内・岡田・地区長が説明指導(球審・1・2・3塁審の基本的な動き方、カバー、タッチアップ確認、位置判定)(外野飛球の追い方。タッチアップ誰がどこで判定するか)。

日本ソフトボール協会 平成25年度表彰

(功労者表彰)

白 島 一 芳 (副会長)

(終身記録員)

本 間 幸 次 (県協会記録委員会参与)

埼玉県ソフトボール協会功労賞

(中央支部推薦) 主な受賞時の役職

永 井 洋 三 (総務委員長)

植 原 則 武 (壮年委員長)

山 崎 善 樹 (放送委員長)

藤 川 和 仁 (支部総務部長)

浜 出 均 (中学生委員長)

26年度さいたま市体育賞

(体育功労賞)

木 内 良 一 (競技副委員長)

日本ソフトボール協会 『終身記録員』受賞にあたり

記録委員会 本間 幸次

このような名誉な賞をいただき身に余る光栄に思っております。

振り返って見れば、昭和57年私の所属する岩槻市に於いて次年度の「国民体育大会関東支部予選会」の開催が決定しました。開催にあたり記録員が必要との説明が有り、同年12月記録講習会が城南小で開催され、それが私と記録の出会いでした。

翌58年3月、埼玉県第3種公認記録員の認定会が行われた。当時は第3種の資格はなく、記録員の資格は第2種からで審判員の第2種の資格を持った人が記録員の資格を得ることができた。第3種は記録員を作る方便として埼玉県独自で開催されたと思う、この認定会が第3種の先駆けとなり、その後平成4年日ソ協で第3種公式記録員の制度ができた。

記録員委員会は歴史が浅く日ソ協は昭和54年、埼玉県協会は翌55年に設立された。県記録委員会設立当時2人の記録員が、また55年12月に桶川市に於いて県内初めての第2種公式記録員の認定会が行われ、81名の記録員が誕生し、その中の4～5名が中心となり委員会の基盤となった。

その後59年7月春日部市に於いて第2回目の認定会が行われ77名の記録員が誕生した。この中の数名が記録活動の実行部隊となり、支部により昭和60年から記録活動が開始された。爾来30数年が経過し、現在埼玉県は記録の先進県として全国各地から注目されるようになった。

当初からの活動の一員として33年の経験を生かし、今後は記録員の育成と後進の指導にあたり、市ソ協や記録委員会に協力してゆきたいと思っております。

皆様の推薦をいただき受賞できたことを感謝申し上げます。

ありがとうございました。

さいたま市体育賞 体育功労賞を受賞して

競技副委員長 木内 良一

このたび、平成27年3月14日に平成26年度さいたま市体育功労賞をいただく栄誉に浴しました。ご推薦いただいた市ソ協役員ならびに関係の皆様へ厚くお礼申し上げます。

私は審判委員会をお手伝いした後の平成20年から競技委員会事務局として小笠原委員長をサポートしてきました。競技委員はグラウンドに朝7時に集合してコート別に備品を設置して当日の試合進行に備える役割です。当時の委員は20名程度でしたので特定の人が毎週出番となり、負荷が偏るということから何とかして人員を増やそうと「協会の業務は各チームが分担し合って」の協会発足当初の申し合わせに則り、幸いに各チームの協力が得られて現在の100名体制にすることができました。これにより現在、年間延べ400回/人の競技当番を1人平均4回前後で賄っています。

この機会に今後の競技委員のあり方について考えてみました。現競技委員は27年度で任期満了となりますが、来年度からは競技委員選出を全チームの輪番制にしてはとの声が出ています。すなわち成人チーム約200団体を2年ごとに半数交代の輪番制にする方式を導入してはどうでしょうか。大会運営に共通する業務は参加チームが均等に分担することが肝心です。年内に検討を詰め28年度から実施していくことが望まれます。

審判員・記録員認定会合格者

【第3種公認審判員】 78名

高松 強・宮本 善郎・北島 新悟	
武藤 文謙・國谷 茂雄・永田 喜雄	
横田 将博・本田 為之・堤 隆之介	
今井 伸明・富加須 慎・大橋日出男	
大須賀 勝・熊谷 忠明・後藤 栄治	
東海林智昭・田上 猛・関根 広司	
山田 信幸・野町 泰之・宮本 孝志	
坂井 幾弥・橋口 誠・岡島 博徳	
松本 誠志・鈴木 雅之・渡邊 諒	
幕田 友一・池田 郁雄・松本 春美	
山内 隆博・萩原 晨仁・中村彦次郎	
田中 直樹・小川 健・遠藤 修司	
臼倉 和希・国分 健志・大野 広	
石政 俊久・横堀 仁・原 一晃	
松本 正美・副島 博・森 祐一郎	
松林 弘能・吉村 俊一・塚越 英之	
平川 晃・村上 聖・佐藤 昇	
森山 謙一・佐竹 宣章・山内 浩蔵	
上敷領孝司・都島 弘・森田 光哉	
金子 和生・神坂 直樹・藤解 勉	
芝塚 陽一・横山 健二・高橋 浩之	
白石 哲郎・小川 浩・大島 昌隆	
高木 康雄・佐藤 礼治・高橋 一弘	
金森 達郎・本多 道雄・一ノ瀬弘海	
高橋 進・赤川 清一・伊藤 壮	
桑島 良太・掛川 俊邦・酒巻 正博	

【第2種公式記録員】 1名

川合 奈美

26年度記録員伝達講習会開催

3月8日(日)9時~12時まで、岩槻駅東口コミセンで市ソ協主催の26年度公式記録員伝達講習会が開催された。

本間幸次記録委員長代行・杉木副委員長の両氏が講師を担当。15名の受講生は熱心に聞き入り、メモをとっていた。

主なルールの変更は審判伝達講習にありまますように、テンポラリーランナーの採用で、未だ記録を付ける上で完璧と言えないので、県記録委員会と記帳方法をお互いに勉強する必要がある。他の変更はプレー上の事項なのでここでは省略する。



編集後記

◎県ソ協広報誌『ソフトボール埼玉』が昭和54年10月、県内のソフトボールの意見交換の場として創刊された。以来35年5か月間ソフトボールのローカル情報を発信してきたが諸般の事情で、第154号で廃刊、ホームページに移行となります。

当市の広報誌は年2回、チーム・役員・競技員などに配布されていますが、最近優勝チーム等からチームの人数分欲しい、記念にバックナンバーがあるか?等発行部数を増やせとの声が寄せられるようになりました。市ソ協常任理事会の承認を得て、今25号から部数を増やし希望者には実費で配布いたします。(@100円)

県ソ協・市ソ協で、悲喜相反する事態が発生し、両紙(誌)に永年携わった者には励みにも刺激にもなる感が深い「別れと躍進」の春です。(田口秀夫広報委員長)

◎発行が遅れましたがやっと完成しました。春季大会開催に合わせ配布する予定でしたが、時期をのがし代表者会議での配布になりました。毎日の仕事に追われ、この膨大な情報量の広報誌を作成する作業が、年のせいなのか、なかなか面倒になり重い腰が上がりませんでした。

田口委員長も体調が悪いので、13年続いたこのコンビであと何号作成出来るか?世代交代をお願いします。(榎本靖二)

さいたま市ソフトボール協会 事務局

さいたま市見沼区小深作485-1

眞嶋久美子 方(〒337-0005)

【広報誌編集委員会】

永田 喜雄・田口 秀夫・榎本 靖二
山内 渉・斎藤 豊・本間 幸次
友光 節夫・神長伊佐男・眞嶋久美子
北林 孝和・大塚 妙子・匠 博隆
信田 正行・石原 則易 以上14名